

継続事業評価シート

評価実施日 令和4年3月31日

令和3年度(5年目)

事業コード	21	事業名	共済加入促進活動による手数料の確保			戦略コード	5	戦略名	環境変化に強い商工会		
商工会名	潟上市商工会	担当者名	藤原 貴志	総轄者名	安田 幸博	施策コード	9	施策名	環境変化に備える中長期財政運営計画の策定		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

商工会の財政の健全な運営を維持していくためには、会費や手数料収入といった自己財源の安定的な確保が重要になってきている。

2. 事業のねらい

会員の減少に伴う将来的な会費収入の減少を補い財政運営の安定化を図るため、商工貯蓄共済や会員福祉共済等の加入促進を行うことで自己財源の確保を図る。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	—	H30	B	R1	B	R2	B
-----	-----	---	-----	---	----	---	----	---

商工貯蓄共済を主として、比較的安定した手数料収入を確保してきた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

共済推進において、職員間のみで実施するのではなく役員や青年部・女性部へも協力を依頼した。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

事業内容	実績	達成度
・青年部・女性部と連携して推進する共済推進計画を作成 ・青年部・女性部に独自の報奨制度を設けて協力を依頼	青年部・女性部の協力体制が確立できたが、解約等による保有口数の減少が続いた。	c

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目	項目				
年度		年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標		目標						目標						目標					
実績		実績						実績						実績					
達成率		達成率						達成率						達成率					
達成度		達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) **b**

〈評価の理由〉

自主財源確保の観点から共済手数料の収入は有効的であり、役員・青年部・女性部・職員が一体となった加入促進は必要である。

【有効性の観点】事業目標の達成状況 【事業内容】「5. 事業内容と実績」「6. 評価指標と実績」の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **c**

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

職員による促進はもちろんのこと、役員、青年部・女性部からも協力を得て推進したが、解約等による保有口数の減少に歯止めがかからない。

【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 コスト縮減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) **a**

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

職員のみでなく、青年部・女性部と連携した加入促進は有効であると考えている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **B**

青年部・女性部と連携した加入促進を実施できたため、大幅に減少はしなかったものの目標未達となった。次年度以降も継続することで口数確保が期待できる。

3. 課題

解約口数を見込んだうえでの組織及び個人目標の明確な設定

4. 今後の対応方針(改善点)

- ・過去5年の解約口数(会員脱退含む)を分析し、目標設定に反映させる。
- ・新規会員に対する加入促進を強化する。